

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	戦傷病者福祉事業		担当部局	社会・援護局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和47年度		担当課室	援護企画課		須田康幸		
会計区分	一般会計		施策名	IV-8-1 戦傷病者、戦没者遺族等に対して、援護年金の支給、療養の給付等の援護を行う				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	戦傷病者福祉事業助成委託費の交付について (平成24年4月5日厚生労働省発社援0405第8号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	戦傷病者等に対して健康診査等を組織的に行い福祉の増進を図ること及び戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦を後世代の人々に伝えることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	戦傷病者に対し、各都道府県の区域の実状に応じ健康診査・健康相談、生活更生相談及び法改正等講習会を組織的に行うこと及び戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦を後世代の人々に伝えることを目的とする。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	224	193	185	184	164	
	執行額	224	193	179				
	執行率(%)	100	100	97				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	本事業の目的である戦傷病者等の福祉の増進、労苦を後世代に伝えることによる成果については、定量的な把握、指標設定が困難。		成果実績	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	①福祉事業参加者数	活動実績 (当初見込み)	人	4,809	3,169 (-)	2,594 (-)	- (-)	
②しよけい館の入館者数	114,514			108,721 (前年度以上)	122,378 (前年度以上)	- (前年度以上)		
単位当たりコスト	①8,056(円/福祉事業参加者数) ②1,342(円/入館者数)		算出根拠	①H23予算額 20,896,000円/H23福祉事業参加者数2,594人 ②H23予算額 164,261,000円/H23入館者数 122,378人				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	事務委託費	184	164	戦傷病者福祉事業(361)に一部事業移行のための減				
	計	184	164					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	戦傷病者等の福祉の増進、労苦を後世代に伝えることは重要であり、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	本事業の目的である戦傷病者等の福祉の増進、労苦を後世代に伝えることは国の責務であり、国が実施すべき事業である。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	－
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業は、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令」及び「戦傷病者福祉事業助成委託費交付要綱」に基づき、財団法人日本傷痍軍人会に委託している。当該団体は、戦傷病者等労苦継承事業調査検討委員会報告書(平成16年3月)により、戦傷病者の特別な労苦を自ら体験した唯一の全国組織である団体が最適であるという意見から選定したものである。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	実績を元に必要最小限の予算計上に努めている。
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	－
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	－
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	本事業は、戦病者等の福祉の増進やしょうけい館運営事業費となっており、必要費目に限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業では、戦傷病者を各ブロックごと一同に集めて健康診査等を実施していることや、労苦を後世代に伝えるための展示施設を運営し、多くの入館者数を集めていることから実効性の高い手段となっている。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	－
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	福祉事業、しょうけい館事業ともに、事業開始以来、一定の参加者、入館者実績がある。
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	－
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	－
点検結果	本事業については、福祉事業、しょうけい館事業ともに事業開始以来、一定の参加者、入館者実績があり、実効性の高い手段となっている。予算規模、支出もそれに見合ったものになっているところであるが、福祉事業については戦傷病者の当然減を考慮し、精査していく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き必要な予算措置に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	－		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	457	平成23年行政事業レビュー	415

※平成23年度実績を記入

戦傷病者福祉事業

厚生労働省

179百万円

戦傷病者等に対して健康診査等を組織的に行い福祉の増進を図る。また、戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦を後世代の人々に継承する。



〔委託費〕

A. (財)日本傷痍軍人会

179百万円

・福祉事業:健康診査、生活更生相談、法改正等講習会
・しょうけい館事業:展示事業、図書映像資料等閲覧事業、
関連情報提供事業、広報活動

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)

A.(財)日本傷痍軍人会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	戦傷病者に対する健康診査等に 係る医師等の謝金	1.0			
旅費	戦傷病者に対する健康診査等に 係る医師等の旅費	2.3			
消耗品	戦傷病者に対する健康診査等に 係る消耗品費	1.3			
印刷製本費	戦傷病者に対する健康診査等に 係る印刷製本費	1.8			
通信運搬費	戦傷病者に対する健康診査等に 係る通信運搬費	1.0			
借料及び損料	戦傷病者に対する健康診査等に 係る会場借上費	2.1			
会議費	戦傷病者に対する健康診査等に 係る会議費	1.1			
雑役務費	戦傷病者に対する健康診査等に 係る雑役務費	3.5			
人件費	しょうけい館の運営事業に係る職 員等の人件費	42.6			
印刷製本費	しょうけい館の運営事業に係る印 刷製本費	1.4			
通信運搬費	しょうけい館の運営事業に係る通 信運搬費	0.7			
光熱水料	しょうけい館の運営事業に係る光 熱水料	2.1			
借料及び損料	しょうけい館の運営事業に係る施 設借上料(賃料)	73.9			
雑役務費	しょうけい館の運営事業に係る雑 役務費	9.6			
資料収集費	しょうけい館の展示事業に係る資 料収集費	8.1			
資料保存管理費	しょうけい館の展示事業に係る資 料保存管理費	19.0			
企画展制作経費	しょうけい館の展示事業に係る企 画展制作経費	7.0			
計		179	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.(財)日本傷痍軍人会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本傷痍軍人会	戦傷病者に対し、各都道府県の区域の実状に応じ健康診査・健康相談、生活更正相談及び法改正等講習会を組織的に行うことにより、戦傷病者の福祉の増進を図ること及び戦傷病者やその妻等が体験した戦中・戦後の労苦を後世代の人々に伝えることを目的とする施設「しょうけい館」の運営を行う。	179		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					